

高等学校 令和4年度（1学年用） 教科 総合的な探究の時間 科目 人間と社会

教科： 総合的な探究の時間 科目： 人間と社会 単位数： 1 単位

対象学年組： 第 1 学年 A組

教科担当者： （前田・久保田）

使用教科書： （人間と社会 ）

教科 人間と社会 の目標：

【知識及び技能】 様々な価値や考えがあるという多様性の理解や他者と共同することの意義の理解する力を養う。

【思考力、判断力、表現力等】 自他の考え方や調べた知識等を他者に伝える力等の育成

【学びに向かう力、人間性等】 他人事から当事者意識を持ち、学習に主体的に取り組もうとする姿勢の育成

科目 人間と社会 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・価値観や環境の違う他者を理解することができる知を養い、人眼視を高めていく。 ・他社理解実現のために必要な情報の収集・整理・分析が行える力を育成する。	・一つの事象を様々な角度から多面的または多角的に考察できる力を育成する。 ・自他の考え方や調査した知識等を他者に伝達する力を育成する。	・社会の一員として主体的かつ積極的に関わろうとする姿勢を育成する。 ・様々な課題や問題点を見つけ学習に主体的に取り組む力を育成する。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	【人間関係を築く】 人間関係を築くことの意味を理解させる。 【学ぶことの意義】 学ぶことの意味について考えさせる。	・ケーススタディでグループワークを行い、議論を深める。	【知識・技能】それぞれの課題に対する知識の修得度 【思考・判断・表現】 グループワークでの発言内容 【主体的に学習に取り組む態度】 課題への取り組み姿勢	○	○	○	7
	【マナーとルール】 都立高校生のマナーやルールに対する現状を考え考察する。 【スマートフォン時代のコミュニケーション】 スマートフォンを活用した生活について理解させる。	・ケーススタディでグループワークを行い、議論を深める。特にスマートフォン時代を生きることについて議論を深める。	【知識・技能】それぞれの課題に対する知識の修得度 【思考・判断・表現】 グループワークでの発言内容 【主体的に学習に取り組む態度】 課題への取り組み姿勢	○	○	○	7
2 学期	【ワークライフバランス】 自分が理想とするワークライフバランスの実現法考えさせる。 【お金の意義】 取支の管理について考えさせる。税・社会保障・人生のリスクについて考えさせる。	・ケーススタディでグループワークを行い、議論を深める。特に子どもの出生別にみた出産前後の妻の就業変化について話し合う。	【知識・技能】それぞれの課題に対する知識の修得度 【思考・判断・表現】 グループワークでの発言内容 【主体的に学習に取り組む態度】 課題への取り組み姿勢	○	○	○	7
	【支えあう社会】 自助・共助・公助の意味を理解させる。 【地域社会を築く】 地域社会との関りについて理解を深める。	・ケーススタディでグループワークを行い、議論を深める。特に支えあうことについて議論する。	【知識・技能】それぞれの課題に対する知識の修得度 【思考・判断・表現】 グループワークでの発言内容 【主体的に学習に取り組む態度】 課題への取り組み姿勢	○	○	○	7
3 学期	【文化の多様性】 外国人が集まる東京について学び様々な文化を理解させる。 【グローバル化進展する社会】 今できること、今後すべきことを理解させる。	・ケーススタディでグループワークを行い、議論を深める。特に支えあうことについて議論する。グローバル化の進展する社会で大切にすべきもの議論する。	【知識・技能】それぞれの課題に対する知識の修得度 【思考・判断・表現】 グループワークでの発言内容 【主体的に学習に取り組む態度】 課題への取り組み姿勢	○	○	○	7
							合計
							35